

見聞を広め、新たな連携を開発できるようにする「ヘッドランプ」計画、ミラノでの大規模な展示会に提携都市の若い芸術家たちの作品を展示する計画等もある。広範な分野での提携都市との協力は、相互学習を促進し、サービスの提供という面で具体的な改善に役立つ。バーミンガム市は、永続的な関係の下、各自の行動計画を通して相互に合意した目標を設定し、EUの支援を積極的に利用して、そうした目標の達成手段を明らかにすることが課題としている。

#### 事例13ーエステリ（ニカラグア）：公共サービスの改善と民主的な統治の強化を目的とした欧州との南北提携

都市間連携の背景：1985年、欧州の都市グループ（ビーレフェルト[ドイツ]、デルフト[オランダ]、エッセン[ドイツ]、エブリー[フランス]、サンフェリクス・デ・ジョブレガット[スペイン]、シェフィールド[英国]）が、ドイツのNGOと共にニカラグアのエステリ市と連携し、水、衛生、エコロジープロジェクト面で支援することになった。

成果／教訓：10年間の協力経験に基づき、エステリは、複数政党制への変化の過渡期にあるため、民主的な統治の強化という制度的改革に重点を移している。欧州委員会の支援を得ながら、市民、市職員、議員を対象とし、財務管理や社会資本整備体系の構築などの活動がエステリで実施されている。その結果、エステリと欧州の6都市間の連携は強化された。また、この事例は、北側諸国の6つの都市が南側諸国の1都市と協力し合っているという複数都市対1都市という形態の面でも注目に値する。

明らかになった問題点：南北間で行われた最初の都市間連携の1つで、制度改革と統治問題に焦点を合わせることが課題であった。最も大きな特徴は、このプログラムが地域民主主義の運営に関する諸側面に焦点をあて、配慮しているということである。そのため、これらが連携に具体的な目的を与えるという機能をもつことになり、目に見える結果をもたらしている。

#### 事例14ーマウントハーゲン（パプアニューギニア）：コモンウェルス基金を使った都市間連携の実現（オレンジ市（オーストラリア））

都市間連携の背景：マウントハーゲン市の学校で教えていた教師が、オレンジ市出

身であったことが縁で民間交流が始まり、1985年に姉妹都市提携を結んだ後は、ロータリークラブの事業を通じて、病院、学校などのコミュニティ・サービス分野を中心に草の根レベルの協力を行ってきた。そしてその後、マウントハーゲン市側から土木技術指導の要請を受けて、90年にオレンジ市職員が同市に派遣されたのを皮切りに、市職員の相互派遣を通じて、ごみ処理、道路整備、下水処理などに関する技術協力が行われるようになった。このように長い間姉妹都市連携を結んでいたマウントハーゲン市とオレンジ市は、コモンウェルス地方自治体有料事例計画基金を活用して、都市計画立案に関する実践的な提携プロジェクトを実施する機会を設けた。

**結果／教訓：**このプロジェクトによって、マウントハーゲンの都市計画能力が強化された

**明らかになった問題点：**共同活動に慣れている都市は、新たな外部資金調達の機会を活用しやすい立場にあり、既存の関係を基礎として、技術プロジェクトを拡大することができる。このプロジェクトは、「援助提供者」側のコミュニティへの情報のフィードバックが重要な課題となっている。

#### 事例15－東西南北（NEWS）プログラム

**都市間連携の背景：**1992年、民主化の経験を踏まえて、東および南側諸国で関連する協力プロジェクトを策定するため、オランダ、チェコ、スロバキア、ニカラグアの連携都市間で、3年間の協力試行プログラムが開始された。オランダ都市連合

（VNG）が管理するこのプログラムの下、関係地方自治体協会との協力を通して都市の「トライアッド（三者連携関係）」が確立された。チェコとスロバキアの都市は、そうした協会を通してオランダの連携都市から融資を受け、ニカラグアの開発プロジェクトに技術支援している。チェコとスロバキアの都市は、コミュニティ内で南側との開発協力のニーズに対する意識を高めるため、これらのプロジェクトで得た各自の経験と情報を提供している。

**成果／教訓：**8つの「トライアッド」が確立されたが、これには既存の都市リンクを基礎としているものも含まれており、ニカラグアでは、20件の具体的な開発プロジェクトが実施された。チェコとスロバキアでは、国営テレビ向け番組の制作（オランダのNGOが共同出資）等、開発のニーズや手法に関する大規模な啓蒙普及活動

が実施された。このプログラムは第2フェーズに移行しており、中欧や南側のその他の国々に拡大されている。

明らかになった問題点：各国で関与している都市の国内体制の継続性を確保することが難しい。職員や優先順位の変更に起因する問題を克服していく必要がある。連携が複雑なため、特殊な組織的活動が必要であり、共通言語でのコミュニケーションは、必ずしも容易なことではない。しかし、3つの文化間の共同活動と、それに付随する広範な問題に関する経験を通して国際的な視点が抽出され、大きな成果を得ることが可能である。

#### 事例16ーメドシティ：環境戦略および管理に重点を置いた特定地域での南北都市ネットワーク

都市間連携の背景：メドシティは、地中海に面する都市間で都市環境問題に関する経験とノウハウを交換できる組織を提供するため、1991年に創設された。地中海行動計画（METAP）と世界都市連合（UTO）が共同で創設した機関である。現在は27都市で構成されているが、先頃加盟基準が広げられたことで1国につき2都市が加盟できるようになった。メドシティの目的は地中海地域の環境保護政策について相互依存と共同責任という観念の強化と地域環境政策を実施する過程で都市の役割と能力（制度的、財政的、技術的）の強化によって、利用者と現地住民の意識改善と関与の促進を図り、国家戦略の枠組みの中で地中海都市間の提携を実施し、直接的な協力政策を促進することにある。

成果／教訓：メドシティの手法は、経済、社会および環境面での考慮事項を統合することを目的としている。最近では、環境監査、持続可能な都市開発を可能にする広報サービスの創設、持続可能な地域開発／ローカルアジェンダ21の促進、地中海廃棄物管理プログラム（EU／UNDP）への参加等が実施されている。先頃、ネットワークパートナーと外部援助提供者の支援を受け、レバノンのトリポリにアーバン・オブザーバトリー（都市観測所）のモデル施設と大気モニタリングサービス施設が設置された。

明らかになった問題点：メドシティは主に欧州連合とMETAPから資金提供を受けており、個々のプロジェクトは中央政府やさまざまな国の援助提供者の支援を受けている。しかし、加盟各都市は費用の徴収や官民提携による新たな資金調達手段を検

討し、主要財源の減少を補わなければならない。

#### 事例17ーセブ（フィリピン）：フォートコリンズおよびラリマー郡（アメリカ）との廃棄物管理計画の改良のための連携協力

都市連携の背景：フィリピンのセブ市と米国コロラド州のフォートコリンズおよびラリマー郡の提携関係に基づき、固形廃棄物管理等、セブ市民が必要としている重要なサービスの提供に関し、セブへの援助が実施された。作成された行動計画には援助提供者および民間部門の計画投資を含む固形廃棄物管理10年計画のための枠組みの整備、リサイクルとコンポストに関するパイロットプロジェクトの策定、固形廃棄物管理の改善、埋め立てへの廃棄物の混入量削減といった提携の目的が明記されている。

結果／教訓：セブは、提案されているパイロット分野で市民団体、NGO、大学、経済界とも接触し、そうした人々の支援と情報提供を確保した。

#### 事例18ープーン（インド）：ブレーメン（ドイツ）との連携による利害関係者の調整

都市間連携の背景：ドイツのブレーメンとインドのプーンは、プーンの病院にいる障害を持つ子供たちを支援するため、1976年にプロジェクトを立ち上げ共同活動を開始した。1980年、両都市に都市連帯フォーラムと呼ばれるNGOが設立され、以降広範なコミュニティ組織および機関との連携を育てている。

成果／教訓：地方自治体、大学、商業会議所が公式の合意書に署名し、広範囲な交流、研修プログラム、ビジネスリンク、共同プロジェクト、文化行事、教育プログラムを実施した。こうした活動によってローカルアジェンダ21に関する共同作業が実施された他に、プーンの行政当局、科学者、産業関係者、NGOが集い、環境改善、廃棄物管理、大気汚染防止、太陽エネルギーの利用、森林再生等に関する幅広い具体的なプロジェクトを指揮する円卓会議の設置にもつながった。この連携は相互に利益をもたらし、ローカルアジェンダ21を背景として、両市のより広範な分野の人々が持続可能な開発プロセスに参加できる新たな構造が開発されている。NGOが民間部門の協力を促進しており、プーンの連携協力は、ローカルアジェンダ21のプロセスに参加するインセンティブをブレーメン大学に与える結果となった。

## 事例一覧

No.	事業名	対象都市	参加都市	支援機関・コーディネート機関	資金的支援団体等	協力形態	タイプ
1	ラングレー(カナダ)との連携を通して土地利用計画と災害対応の管理能力強化	サンフェルナンド(フィリピン)	ラングレー(カナダ)	カナダ都市連盟	—	協働	C2C
2	ノッティンガムシャー州議会(イギリス)との都市間連携で新たな開発ノウハウを獲得	ポズナン(ポーランド)など	ノッティンガムシャー(イギリス)など	英国政府	—	—	C2C
3	ルーフェン(ベルギー)との持続可能性戦略立案過程における都市間提携	ナクル(ケニア)	ルーフェン(ベルギー)	国連ハビタット	—	協働	C2C
4	EUの都市間連携事業を通してリール(フランス)と情報公開戦略を策定	ハリコフ(ウクライナ)	リール(フランス)	EU	—	行く	C2C
5	ヒレロッド(デンマーク)との連携による教育サービスの制度的改革	ダルハンウール(モンゴル)	ヒレロッド(デンマーク)	EU	—	協働	C2C
6	ヒントン(カナダ)との連携による財務管理の改善	チエグトウ(ジンバブエ)	ヒントン(カナダ)	なし	—	—	C2C
7	ロッテルダム(オランダ)との連携による住宅整備プロジェクトの基盤整備	上海(中国)	ロッテルダム(オランダ)	—	—	協働	C2C
8	ハーレム(オランダ)との都市連携による廃棄物管理の改善	ムタレ(ジンバブエ)	ハーレム(オランダ)	国連ハビタット	—	協働	C2C
9	アンジェー(フランス)との提携を通しての一次医療へのアクセスの改善	ハマコ(マリ)	アンジェー(フランス)	—	フランス政府	協働	C2C
10	シャーロット(米国)との連携による障害者向けサービスの開発	ボロネジ(ロシア)	シャーロット(米国)	—	—	協働	C2C
11	ローカルアジェンダ 21 に基づくランカシャー(英国)とのリンクの構築	グル(ウガンダ)	ランカシャー(英国)	英国州議会協会	EU	協働	C2C
12	バーミンガムの欧州における都市間連携	リヨン、ライプツィヒ、ミラノなど	バーミンガム(英国)	—	EU	協働	C2C
13	公共サービスの改善と民主的な統治の強化を目的とした欧州との南北提携	エステリ(ニカラグア)	欧州の都市グループ(ビーレフェルト[ドイツ]、デルフト[オランダ]、エッセン[ドイツ]、エブ	ドイツの NGO	—	協働	他都市間

			リー[フランス]、サンフェリクス・デ・ジョブレガット[スペイン]、シェフィールド[英国]				
14	コモンウェルス基金を使った都市間連携の実現(オレンジ市(オーストラリア))	マウントハーゲン(パプアニューギニア)	オレンジ市議会(オーストラリア)	—	コモンウェルス地方自治体有料事例計画基金	—	C2C
15	東西南北(NEWS)プログラム	オランダ、チェコ、スロバキア、ニカラグアの連携都市間8つのトライアド	オランダ、チェコ、スロバキア、ニカラグアの連携都市間8つのトライアド	オランダ都市連合(VNG)	オランダのNGOなど	—	C2C
16	環境戦略および管理に重点を置いた特定地域での南北都市ネットワーク	—	27都市	メドシティ	欧州連合、地中海行動計画(METAP)	—	他都市間
17	フォートコリンズおよびラリマー郡(アメリカ)との廃棄物管理計画の改良のための連携協力	セブ(フィリピン)	米国コロラド州のフォートコリンズおよびラリマー郡	—	—	—	—
18	ブレーメン(ドイツ)との連携による利害関係者の調整	ブーン(インド)	ブレーメン(ドイツ)	—	—	協働	C2C

(※) 「なし」は該当なし、「-」は不明